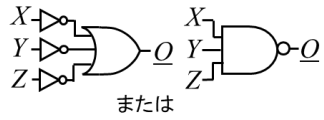
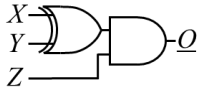
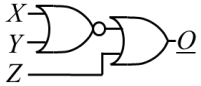
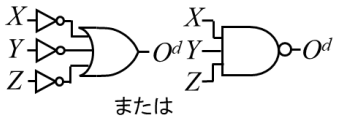
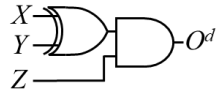
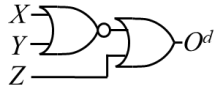
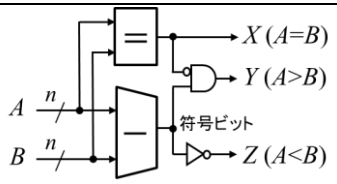
「はじめての論理回路」正誤表

2023.12.27

飯田全広 著

初版 3 刷　　近代科学社

誤	正
P.50　4 章　［4 章まとめ］ 　すべてのリテラルが 1 つずつ含まれる論理積項を最小といい、	P.50　4 章　［4 章まとめ］ 　すべてのリテラルが 1 つずつ含まれる論理積項を最小項といい、
P.67　5 章 演習問題 問 5.4 　NOT ゲート，AND ゲート，OR ゲートを用いて恒偽（論理値 0）および恒真（論理値 1）を出力する 2 入力の論理回路を作りなさい. （下線部削除）	P.67　5 章 演習問題 問 5.4 　NOT ゲート，AND ゲート，OR ゲートを用いて恒偽（論理値 0）および恒真（論理値 1）を出力する論理回路を作りなさい.
P.68　5 章 演習問題 問 5.3 解答 (1) $O=\overline{X+Y}\cdot\overline{Z}$　$O^d=\overline{\overline{X+Y}\cdot\overline{Z}}=\overline{X}+\overline{Y}+\overline{Z}$  または (2) $O=X\cdot Y+\overline{X}\cdot\overline{Y}+Z$　$O^d=\overline{\overline{X}\cdot\overline{Y}+X\cdot Y+\overline{Z}}=\overline{X\oplus Y+\overline{Z}}=(X\oplus Y)\cdot Z$  (3) $O=(\overline{X}+\overline{Y})\cdot Z$　$O^d=\overline{(\overline{\overline{X}+\overline{Y}})\cdot\overline{Z}}=\overline{(X+Y)\cdot\overline{Z}}=\overline{X+Y}+Z$  （図の下線部がすべて O^d）	P.68　5 章 演習問題 問 5.3 解答 (1) $O=\overline{X+Y\cdot\overline{Z}}$　$O^d=\overline{\overline{X+Y}\cdot\overline{Z}}=\overline{X}+\overline{Y}+\overline{Z}$  または (2) $O=X\cdot Y+\overline{X}\cdot\overline{Y}+Z$　$O^d=\overline{\overline{X}\cdot\overline{Y}+X\cdot Y+\overline{Z}}=\overline{X\oplus Y+\overline{Z}}=(X\oplus Y)\cdot Z$  (3) $O=(\overline{X}+\overline{Y})\cdot Z$　$O^d=\overline{(\overline{\overline{X}+\overline{Y}})\cdot\overline{Z}}=\overline{(X+Y)\cdot\overline{Z}}=\overline{X+Y}+Z$ 
P.108　問 8.4 解答 (2) {Kernel, Co-kernel}={d+e, abc}, {abc+fg,e}, {ad+ae+g,bc}, {ef+bc,g} （下線部削除）	P.108　問 8.4 解答 (2) {Kernel, Co-kernel}={d+e, abc}, {abc+fg,e}, {ef+bc,g}
P.116　図 9.15 (b) n ビットの比較回路の例	P.116　図 9.15 (b) n ビットの比較回路の例

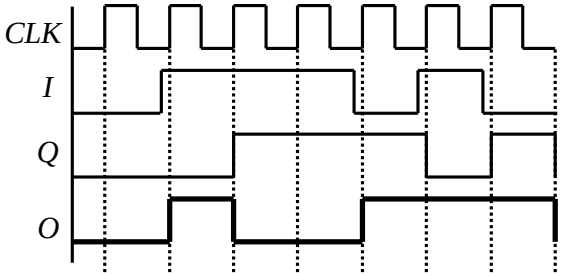


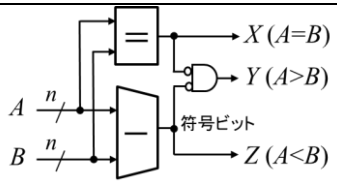
(b) nビットの比較回路の例

P.117 （5 行目－7 行目）

大小比較をするために 2 つの数値の引き算を行う．その結果の符号ビットが正の場合は「大なり」，負の場合は「小なり」なので，符号ビットの出力が Y（A＞B），その反転が Z（A＜B）となる．

P.170 13 章演習問題解答 問 13.3 略解（タイミングチャート）

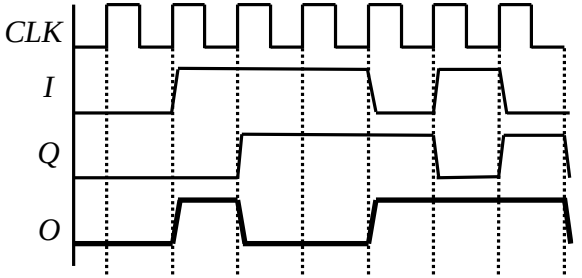




(b) nビットの比較回路の例

P.117 （5 行目－7 行目）

大小比較をするために 2 つの数値の引き算（A-B）を行う．その結果の符号ビットが正（0）の場合は「大なり」，負（1）の場合は「小なり」なので，符号ビットの反転が Y（A＞B），その出力が Z（A＜B）となる．

（下線部の追加・修正）

P.170 13 章演習問題解答 問 13.3 略解（タイミングチャート）